

各種任意の予防接種費用を助成します

感染症の蔓延や罹患による重症化予防、接種費用負担軽減を目的に、希望者に任意の予防接種費用の助成を行います。(沼田市独自事業)

助成対象の予防接種 ※対象者は沼田市民に限ります



種類	高齢者用肺炎球菌(23価)	風しん	おたふくかぜ ☆今年度新規	帯状疱疹 ☆今年度新規
ワクチン	23価ワクチン	・MRワクチン ・風しんワクチン	おたふくかぜワクチン	・生ワクチン ・不活化ワクチン
対象者	66歳以上で、過去に1度も23価ワクチンを受けていない人	・妊娠を希望している女性又はパートナー ・妊娠中の女性のパートナー	1歳～4歳	50歳以上
助成額	3,000円	(MR)5,000円 (風しん)3,000円	3,000円	(生)5,000円 (不活化)10,000円
助成回数	1回	1回	1回	(生)1回 (不活化)2回
申請方法	事前に市役所健康課窓口で申請する (オンライン申請可)	事前に市役所健康課窓口で申請する (オンライン申請可)	医療機関の申請書兼 予診票で接種を受ける (事前申請不要)	事前に市役所健康課窓口で申請する (オンライン申請可)
備考	1回以上定期又は任意接種を受けている人は対象外	過去に助成を受けている人は対象外	過去1回以上接種を受けた人も対象となる場合あり	接種は、生又は不活化ワクチンのいずれかで受ける

*同じ種類の予防接種について、過去に費用助成を受けている場合、助成の対象外です。

*自己負担額は、接種費用から助成額を除いた金額となります。

(生活保護受給世帯の人は、自己負担はありません。)

◎事前申請について

(風しん・帯状疱疹・高齢者用肺炎球菌)

助成対象期間 (令和5年度中に助成を受ける申請をした場合)

令和5年4月1日～令和6年3月31日

実施場所

利根沼田地域の予防接種実施医療機関

*利根沼田地域以外の医療機関で接種を受ける場合は、健康課に、事前にお問い合わせください。

*実施医療機関の一覧は、市HPをご覧ください。

・市役所来庁不要な、オンライン申請がオススメです!

・事前申請方法は、

①オンライン申請

②健康課窓口でお受けします。



オンライン申請や
助成の詳細は、
こちらから

【新規事業】骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種費用助成

20歳未満で、骨髄移植手術等の医療行為により、接種済みの定期接種の予防効果が期待できず、再接種が必要であると医師に診断された人を対象に、定期予防接種ワクチンの再接種にかかる費用を助成します。
詳細については、健康課にお問い合わせください。

=== 裏面あります(帯状疱疹・おたふくかぜ・問合せ先) ===

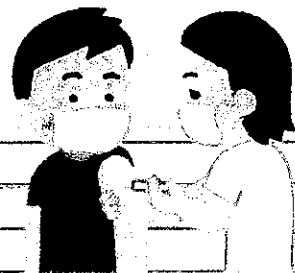
【新規事業】帯状疱疹予防接種について

帯状疱疹とは

- 原因 水痘・帯状疱疹ウイルスの感染による水痘が治癒した後、神経節に潜伏感染しているウイルスが、加齢や疲労、ストレス等がきっかけで再活性化して発症する皮膚の病気です。
- 症状 体の片側に水疱を伴う紅斑が帯状に広がり、痛みを伴うことが多く、症状は3～4週間ほど続きます。皮膚症状治癒後も、帯状疱疹後神経痛が長期間に続くことがあります。
- 傾向 80歳までに3人に1人が帯状疱疹を経験するとされ、50歳以上では帯状疱疹を発症した人の2割程度が、帯状疱疹後神経痛に移行するとされます。

2種類のワクチンについて

種類	生ワクチン	不活化ワクチン
一般名	ビケン	シングリックス
方法(回数)	皮下注射(1回)	筋肉内注射(計2回)
予防効果	50～60%	90～95%以上
持続期間	5年程度	10年以上
副反応	・注射部位の痛み、腫れ、発赤 ・非常にまれにアナフィラキシーや血小板減少性紫斑病など重篤な副反応が現れることがある	・注射部位の痛み、腫れ、発赤、筋肉痛、全身倦怠感、悪寒、発熱など ・非常にまれにアナフィラキシーなど重篤な副反応が現れることがある
費用目安	8,000～10,000円程度(1回接種)	40,000～50,000円程度(2回接種)
備考	・免疫不全者や妊婦は不可 ・接種後、生ワクチンの接種には27日以上を開ける必要あり	〈2回目接種について〉 ・間隔:1回目接種の2～6か月後に受ける ・使用ワクチン:1回目と同じものを受ける



*掲載内容は、取扱説明書、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料等を参考にしています。

【新規事業】おたふくかぜ予防接種について

おたふくかぜとは

- 原因 流行性耳下腺炎ともいい、ムンプスウイルスによる発熱と耳下腺腫脹(唾液腺の炎症)などを特徴とする感染症です。
- 傾向 おたふくかぜは罹患すると、髄膜炎や睾丸炎、難聴や肺炎など引き起こすとされます。成人が感染すると小児に比べて重篤になるとされます。特に思春期を過ぎた男子が感染した場合、高確率で睾丸炎を併発し、後に不妊症の原因の1つとなることも明かされています。

予防接種について

- 有効性 生後12か月以上の健康な小児では、90%以上で効果が認められています。また、家族内での感染拡大の予防に、94.3%の効果が認められています。
- 副反応 (0.1～5%未満)発熱、耳下腺腫脹 など

*掲載内容は、取扱説明書等を参考にしています。

問合せ 沼田市健康課予防係(テラス沼田3階) TEL0278-23-2111